

2012年6月22日
株式会社モビリティランド
鈴鹿サーキット

2012 AUTOBACS SUPER GT Round5 第41回 インターナショナル ポッカ 1000km

2012  AUTOBACS SUPER GT ROUNDS

Pokka 1000km
41ST INTERNATIONAL POKKA 1000KM

8.18^{予選}[土] 19^{決勝}[日]

伝統の1000kmレースが4年ぶりに復活！ 夏の鈴鹿で新たな歴史の幕が開く

今年50周年を迎える鈴鹿サーキットに伝統の1000km耐久レースが復活した。2009年から2年間は700km、2011年は500kmのレース距離だったが、4年ぶりに1000kmで争われることになったのだ。「鈴鹿1000km自動車レース」が初めて開催されたのが1966年。以来、耐久レースのメインイベントとして続けられ、今年で41回大会を迎える、日本国内で最も長い歴史を持つ1戦でもある。

通常レースの約4レース分の走行距離に匹敵するポッカ1000kmは、シーズンの中でも最も過酷な戦いとなる。通常、ドライバーは2名登録だが、ポッカ1000kmにおいては、第3ドライバーの登録も認められる。この過酷な一戦を戦い抜くには、ドライバー・チームの総合力が問われ、速さと耐久性が備わったマシンが必要要素となる。決勝日、12時30分(予定)に決勝レースのスタートが切られ、1000km先のゴールを目指す。薄暮の中、感動のチェッカーフラッグが振られ、勝者はもちろん、過酷なレースを戦った全てのドライバー、チームの健闘を称える大輪の花火が打ち上げられる。



2011年スタートシーン



2011年花火の様子

開催概要

- 大会名称: 2012 AUTOBACS SUPER GT Round5 第41回 インターナショナル ポッカ 1000km
- 開催日: 2012年8月18日(土)・19日(日)
- 併催レース: GT Asia Series 2012 Round 7 & Round 8/Honda Sports & Eco Program CR-Z 10リッターチャレンジ
- 主催: 関西スポーツカークラブ(KSCC)/鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)/株式会社モビリティランド
- 冠協賛: 株式会社ポッカコーポレーション
- 公認: 国際自動車連盟(FIA)、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定: 株式会社GTアソシエーション
- 後援: 三重県/鈴鹿市/鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所

LEXUS SC430の2連勝で幕を開けた2012年シーズン、ポッカ1000kmは真夏の耐久レース2連覇中のHonda HSV-010が加わっての混戦模様

GT500クラスは昨年、シリーズ全8戦でニッサンGT-R勢が5勝を記録する強さを見せて、柳田真孝/R・クインタレリ組(S Road REITO MOLA GT-R)がタイトルを獲得した。ところが2012年シーズンになると状況が大きく変わった。LEXUS SC430勢が逆襲。開幕戦で立川裕路/平手晃平組(ZENT CERUMO SC430)が優勝。第2戦は協阪寿一/石浦宏明組(DENSO KOBELCO SC430)が接戦の末、優勝を飾ったのだ。



開幕戦で優勝した立川/平手組(LEXUS SC430)



開幕戦岡山での表彰台

さらにはSC430勢だけではなくHonda HSV-010勢も好調だ。伊沢拓也/山本尚貴組(RAYBRIG HSV-010)が2戦連続2位、第2戦で道上龍/中山友貴組(EPSON HSV-010)が予選PPを獲得。金石年弘/塚越広大組(KEIHIN HSV-010)は開幕戦で3位フィニッシュ。第3戦では、小暮卓史/カルロ・ヴァン・ダム組(ウイダー HSV-010)がポールトゥーウインを飾るなど好調だ。

ポッカ1000kmでは、さらに混戦となることが予想される。と言うのも昨年の500kmレース、一昨年の700kmレースとHonda HSV-010が2年連続優勝を飾っているからだ。耐久性とスピードが要求される鈴鹿で強さを見せるHSV-010勢とSC430勢ががっぷりと四つに組んでの戦い。そこにGT-R勢が割り込むか!? さらに、真夏の長丁場レースならではの想定外の事態も予測される。これが復活ポッカ1000kmの戦いの構図となりそうだ。



開幕戦から2戦連続2位のHonda HSV-010



開幕戦3位のニッサン GT-R

大混戦は確実！GT300クラスは多彩なFIA-GT3規格のスーパーカー勢と夏の鈴鹿に強い国産マシン、さらにはハイブリッドマシンの激突！！



開幕戦優勝のオーディR8

FIA-GT3規格のマシンが増えて一気にハイスピードバトルとなった今年のGT300クラス。ニッサンGT-R、アストンマーチンヴァンテージ、ランボルギーニガヤルドRG-G・LP600、アウディR8、BMW Z4、フェラーリ458、メルセデスSLS AMG、ポルシェ911などと、エントリーしているGT3マシンは非常に多彩だ。開幕戦はデビューレースとなったアウディR8を駆る田中哲也/平中克幸組が優勝。第2戦は昨年のチャンピオン、BMW Z4 GT3の谷口信輝/片岡龍也組が優勝。ポルシェ911 GT3R、アストンマーチンGT3も上位に食い込んでおり、ヨーロッパのGT3マシンが強さを見せているが、これがポッカ1000kmだと状況が違ってくると予想される。

昨年、一昨年と優勝したのが山野哲也/佐々木孝太組のレガシイB4でその前の08年、09年はニッサンZが優勝と、国産マシンが強さを見せるのだ。今年はFIA-GT3規格のニッサンGT-Rも参戦。2連覇中の山野哲也組は新たにスバルBRZでの参戦。他にガライヤ、第2戦では6位フィニッシュのハイブリッドマシン、プリウスGTも参戦しており、ヨーロッパのスーパーカー軍団と国産マシン軍団が対決する図式が出来上がった。また、第4戦SUGOから参戦予定のCR-Zも鈴鹿でのレースデビューを果たす。過酷な1000km、真っ先にゴールを駆け抜けるのはヨーロッパ車か、国産車か、ハイブリッド車か？いずれにせよこれまでになかった接戦となることだけは確実だ。



第2戦優勝のBMW Z4



新規参戦のスバルBRZ

GTアジアシリーズが今年も鈴鹿で激しいバトルを展開！



2011年のスタートシーン

昨年、鈴鹿に初上陸した「GTアジアシリーズ」。マシンは、主にFIA GT3規格のマシンで、SUPER GT・GT300クラスでもおなじみの、フェラーリ458、フェラーリ430、アウディR8、ポルシェ911、ランボルギーニ・ガヤルド、フォードGTなどが参戦し、日本、マレーシア、マカオを転戦する。1ラウンド90～140kmまたは40分～60分レースで行われ、車両の性能調整が行われ、タイヤもヨコハマタイヤのワンメイクカテゴリーとなり、各車がイコールコンディションに保たれている。

昨年は、一つ山レーシングのオーディR8が2レース共に独走で優勝を飾ったが、アジアから有望な選手が頭角を現しており、鈴鹿での激しい接近戦バトルが予想される。

鈴鹿1000kmヒストリー

1964年の名神高速道路の開通を皮切りに、来るべき高速時代に備え、自動車は高速性能を磨く必要に迫られていた。最高速だけでなく、長時間にわたっての高速性能の向上が要求されていたが、自動車業界はまだ発展途上にあつた。そこで、鈴鹿サーキットは高速時代の到来に備え、耐久レース・シリーズに力を注ぎ、1966年から「鈴鹿500km」、そして「鈴鹿1000km」を開催することとなった。

その記念すべき第1回大会「鈴鹿1000km」で優勝を飾ったのがトヨタ2000GT(福沢幸雄/津々見友彦組)。第3回の68年にはトヨタ7、ニッサンR380、ポルシェ910が対決するなど、自動車メーカーが威信をかけて参戦してきた。鈴鹿を制することは一流の証明。1000kmレースで技術を磨き、そして世界へ羽ばたいて行ったのだ。



第1回大会に優勝したトヨタ2000GT
(福沢幸雄/津々見友彦組)



1968年第3回大会優勝のトヨタ7(福沢幸雄/鮎子田寛組)

王者ポルシェをニッサン、トヨタのグループCカーが破った。 鈴鹿での実績を元に国産マシンが世界に羽ばたいた

1981年からは国際格式のレースとなり海外から強豪チームが多数参戦。この年優勝したのがドイツから来たポルシェ935K3(ポプ・ウォレク/アンリ・ペスカロ組)だった。この後はスポーツプロトタイプカー、通称グループCカーと呼ばれる、1000馬力を超えるモンスターマシンの戦いが始まり、耐久王として長く君臨したポルシェ956/962Cが活躍。これにトヨタ、ニッサン、マツダのCカーが挑む、60年代と同様の対決が展開された。

鈴鹿1000kmでは1983年にポルシェ956の藤田直広/V・シュパン組が優勝したのを皮切りに、86年まで4年連続ポルシェが優勝を飾ったが、1990年の第19回大会でついに星野一義/鈴木利男組のニッサンR90CPが優勝し、ポルシェの牙城を崩すことになった。

翌年にはトヨタ91CV(R・ラッツェンバーガー/PH・ラファネル/長坂尚樹組)が優勝。また87年から757で1000kmに参戦を始めたマツダを加えトヨタ、ニッサンとも鈴鹿での実績を引っ提げてル・マン24時間レースにも挑戦。91年にマツダ787B(フォルカー・ヴァイドラー/ジョニー・ハーバート/ベルトラン・ガシヨ組)が日本車初の総合優勝を飾るなど、日本車が圧倒的な強さを見せた時代でもあった。



80年代の鈴鹿1000kmで圧倒的な強さを見せたポルシェ956



90年ポルシェを破って優勝したニッサンR90CP
(星野一義/鈴木利男組)

ヨーロッパGTカーの来襲、FIA・GT選手権を経て、全日本GT、スーパーGTの時代に

87年から92年まで行われたグループCカーによる全日本スポーツプロトタイプカー選手権(JSPC)の後に始まったのがヨーロッパGTカーの時代。ポルシェ911ターボ、マクラーレンF1GTRが活躍。97年、98年は鈴鹿1000kmがFIA・GT選手権の1戦として開催されメルセデスCLK-GTRが優勝。1999年からは全日本GT選手権参戦マシンが参加するようになりHonda NSXが2年連続優勝を飾り、その後もトヨタ・スープラとの死闘が繰り広げられた。



98年FIA-GT選手権となった1000kmで優勝したメルセデスCLK-GTR (ベルント・シュナイダー/マーク・ウェバー組)



2000年優勝のHonda NSX (脇阪寿一/金石勝智/伊藤大輔組)

2006年からはスーパーGTシリーズの1戦として開催されるようになり、Honda・トヨタ・ニッサンが、まさに三つ巴のバトルを繰り広げている。この頃はスーパーGTの他のラウンドが300kmのレース距離だったのに対し、鈴鹿ラウンドだけは伝統の1000kmとして争われてきた。過酷な鈴鹿で勝てるマシンはシリーズタイトルを狙える。各メーカーともに鈴鹿ラウンドに力を入れていたほどだった。その1000kmレースが今年復活する。伝統の1戦にふさわしい戦いが展開されるのは間違いないだろう。



SUPER GTとしての開催初年度(2006年)に優勝したニッサン・フェアレディZ (ブノワ・トレルイエ/星野一樹/ジェレミー・デュフォア組)



2010年優勝のHonda HSV-010 (ラルフ・ファーマン/井出有治/小林崇志組)

7月20日(金)・21日(土) SUPER GT公開合同テスト開催！ テスト終了後に1000km復活を記念してコース開放・花火の打ち上げを実施 ポッカ1000km観戦券をお持ちの方は2日間入場無料！

7月20日(金)・21日(土)に開催される、SUPER GT公開合同テストにて、1000km復活を記念して、「コチラレーシング プレゼンツファミリーピットウォーク」、「コース開放」、「花火」の打ち上げを実施します。また、公開合同テストの様様をホスピタリティラウンジ、ホスピタリティテラスからもご覧いただけます。

※花火の打ち上げは21日(土)のみとなります。

SUPER GT公開合同テストは
ゆうえんち入園料でご入場いただけます

大人(中学生以上)	小学生	3歳～未就学児
1,600円	800円	600円

イベント情報

鈴鹿サーキット開場50周年 ～ポツカ1000km復活祭！～ 1000km復活祭記念花火の打ち上げも決定！

鈴鹿サーキット開場50周年と、ポツカ1000kmの復活を記念して、「ポツカ1000km復活祭」を開催します。国際レーシングコースを、鈴鹿1000kmのレジェンドマシンがデモ走行を行い、レジェンドドライバーによるトークショーや、レジェンドマシンをドライブしてのデモンストレーション走行を開催。また、イベントのフィナーレには、1000km復活祭記念花火を打ち上げます。



- 開催日時:8月18日(土)18:30～20:00(予定)
- 開催場所:国際レーシングコース、グランドスタンド

コチラレーシングの「キッズドリームプロジェクト」

特設ブースで用紙をもらって、優勝するチームを予想して投票しよう！
優勝チームを当てたお子さまにはスペシャル特典があるよ！また、応募者全員の中から抽選で豪華商品も当たります！応募してくれたお子さま全員に、コチラレーシングフラッグもプレゼント！
ご家族で、友だち同士で、優勝するチームを予想してレースをもっともっと楽しんじゃおう！！

- 開催日時:8月18日(土)・19日(日)
- 応募期間:8月18日(土)～19日(日)決勝レーススタート前まで
※定員に達し次第終了となります。
- 定員:先着1,000名様
- 場所:GPスクエア 特設ブース
- 対象:小学生以下のお子さま



KIDS集合「コチラレーシングブース」で楽しもう！

「GPスクエア」に「コチラレーシングブース」が登場！お子さまやファミリーで体験できるイベントが盛りだくさん！コチラレーシングフォーミュラFE-810の搭乗体験や、鈴鹿サーキットレーシングスクール(SRS)で使用されているカート、バイク、フォーミュラカーの展示・エンジン始動を体験できます。また、応援しているチームのマシンを描いたり、応援しているチーム・ドライバーへの応援メッセージを、世界に一つだけのうちわで涼んで、応援しよう！



- 開催日時:8月18日(土)・19日(日)
 - 開催場所:GPスクエア特設テント「コチラレーシングブース」
 - 料金:オリジナルうちわデザイン:100円(300枚限定)
- ※FE-810体験搭乗は無料でご利用いただけます

暑さをのりきり、ポッカ1000kmを楽しもう 「コチラレーシングのクールダウン大作戦！」

コチラレーシングが、ゆうえんちモビパーク内とGPスクエアの特設エリアで、クールダウン大作戦を実施します。



- 開催日時:8月18日(土)・19日(日)
 - 開催場所:ゆうえんちモトピア内「モビパーク」、GPスクエア
- ※荒天時などは中止になる場合がございます。

ゆうえんちで遊んで「GTライセンス」をゲットして ポッカ1000kmを見に行こう！

ゆうえんちモートピア内の「プッチグランプリ」、「コチラドライビングスクール」、「コチラレーシングカート」、「アクロエックス」、「ドリームR」、「エネワン」の内、いずれかをご利用いただくとポッカGTライセンスが作成できる紙ライセンスがもらえます。これを「ライセンスセンター」「メンキョセンター」に持っていきと写真入り「ポッカ1000kmスペシャルライセンス」が作成できます。

ポッカGTスペシャルライセンス特典：

- ① 決勝日(8月19日)の入園無料
- ② 決勝日(8月19日)17:00以降のレース観戦可能
- ③ 決勝日(8月19日)モートピアサマーパスポートを 半額にて販売
大人2,500円 小学生1,900円 幼児1,250円



※デザインは変更となる場合がございます

※ライセンス特典の対象は、小学生までのお子さまと、その同伴者となります。

(大人の方だけのライセンス特典は受けられません)

※いずれの特典も本人を含め5名様まで有効です。

※観戦はV2席(グランドスタンド上段)からとなります。

「インターナショナル Putti GT サマースペシャル」開催！

ゆうえんちモートピア内の「プッチグランプリ」で、お子さま向けに「ポッカ1000km」ミニ版レースを開催！親子対抗で、本番レースさながらレース中のピットインでドライバー交代も行います。

- 開催日時:8月18日(土)・19日(日)
各日 14:00～、14:30～、15:00～
- 開催場所:ゆうえんちモートピア内「プッチグランプリ」
- 料 金:200円(1組)
- 参加資格:小学生以下のお子さまと保護者 各回10組
- 受付場所:ゆうえんちモートピア内「メンキョセンター」
- 受付時間:各日9:30～



SUPER GTドライバー タイムアタックチャレンジ

GPフィールド内「アドバンスカート」で、カルソニックIMPUL GT-RからSUPER GTに参戦している、三重県出身の松田次生選手がタイムアタック。松田選手のタイムをクリアされたお客様には、松田選手のサイン入りグッズをプレゼント。

- 開催日時:8月18日(土)・19日(日)
- 開催場所:ゆうえんちモートピア・GPフィールド内「アドバンスカート」
- 料金:1,600円(5周)/1人、2,500円(10周)/1人
- 対象:ポッカ1000km観戦券お持ちのお客様

6月23日(土) チケット発売開始!

- 前売観戦券(大人)はゆうえんちモートピアパスポート(土曜日・日曜日いずれか1日)付き!
- ファミリーでお得に観戦!「ファミ得チケット」 MOBILITY STATIONで限定販売!
- お友達を誘って観戦しよう! グループチケット5名で最大5,500円お得!

■前売券

《価格は全て税込みです》

観戦券(2日間有効)	
大人 (ゆうえんちモートピアパスポート1日付)	中・高校生 (入場のみ)
5,500円	1,600円

グループチケット(2日間有効) ゆうえんちモートピアパスポート1日付		
3名	4名	5名
14,850円	18,700円	22,000円

B・Qエリア付き観戦券(エリアは決勝日のみ有効)
6,000円

V2指定席券(決勝日のみ有効) ※別途観戦券が必要です ※3歳以上共通
3,500円

★ファミリーでお得に観戦! ファミ得チケット

ファミ得チケット(2日間有効) ゆうえんちモートピアパスポート1日付	B・Qエリアセット (エリアは決勝日のみ有効)	V2指定席セット (指定席は決勝日のみ有効)
大人2人+子ども1人 (3歳~高校生)	14,000円	20,000円
大人2人+子ども2人 (3歳~高校生)	16,800円	25,600円

★お気に入りのメーカー・チームをみんなで一緒に応援しよう!

Hondaファンシート<観戦券+V1指定席セット> (2日間有効/指定席は決勝日のみ有効)	
大人 (ゆうえんちモートピアパスポート1日付)	子ども(3歳~高校生) 入場のみ
6,500円	2,600円

Hondaファンシート<V1指定席> 3歳以上共通 (決勝日のみ有効) ※別途観戦券が必要です
2,000円

Hondaオリジナルの応援グッズで熱い声援を送ろう!
応援ジャンボハンドプレゼント!

- ※グッズの引き換えは決勝日のみとなります。
- ※グッズは変更となる場合がございます。
- ※写真はイメージです



ドライバー訪問ラインアップ

#8 ラルフ・ファーマン選手、#17 金石年弘選手、#18 小暮卓史選手、#32 道上龍選手、#100 伊沢拓也選手
※訪問ドライバーは予告なしに変更する場合がございます。予めご了承ください。

SUBARUファンシート<観戦券+V1指定席セット> (2日間有効/指定席は決勝日のみ有効)	
大人 (ゆうえんちモートピアパスポート1日付)	子ども(3歳~高校生) 入場のみ
6,500円	2,600円

SUBARUファンシート<V1指定席> 3歳以上共通 (決勝日のみ有効) ※別途観戦券が必要です
2,000円

SUBARUオリジナルの応援グッズで熱い声援を送ろう！

Proud of BOXERグッズプレゼント！

※グッズの引き換えは決勝日のみとなります。

※グッズは変更となる場合がございます。



SUBARUファンシートだけのスペシャルイベント！

山野哲也選手、佐々木孝太選手がファンシートを訪問します。

※訪問ドライバーは予告なしに変更する場合がございます。

予めご了承ください。

ARTAファンシート<観戦券+V1エリアセット> (2日間有効/指定席は決勝日のみ有効)	
大人 (ゆうえんちモートピアパスポート1日付)	子ども(3歳~高校生) 入場のみ
6,500円	2,600円

ARTAファンシート<V1エリア> 3歳以上共通 (決勝日のみ有効) ※別途観戦券が必要です
2,000円

※ARTAファンシート内はエリア席となります。

オリジナルの応援グッズで熱い声援を送ろう！

※グッズの引き換えは決勝日のみとなります。

※グッズは変更となる場合がございます。

※写真はイメージです。



※V2指定席セット(ファミ得チケット)、ファンシートは、オンラインショッピングサイト(MOBILITY STATION)のみで限定販売
※前売指定席券完売の場合、当日指定席券は販売いたしません。お早めにお求めください。

■当日券

	観戦券		V2指定席券 ※3歳以上共通 ※別途観戦券が必要です	B・Qエリア券 ※別途観戦券が必要です
	大人	中・高校生		
8月18日(土)	ゆうえんち入園料(1,600円)		—	—
8月19日(日)	6,500円	1,600円	4,000円	1,500円

※3歳~高校生以下の方の当日券はゆうえんち入園料となります。中高校生/1,600円・小学生/800円・3歳~未就学児/600円
※V2指定席、V1指定席をお持ちの方は、B・Qエリアへの入場ができます。

《価格は全て税込みです》

■VIPスイート・プレミアム<大人・子ども(3歳以上)共通>(2日間有効)

グランドスタンド上部に位置し、東コースの大部分を見渡すことができるVIPスイート。VIPスイート・プレミアムはVIPスイート、VIPテラス、パドックをはじめ、ピットビルディングのホスピタリティテラス(3階)、ホスピタリティラウンジ(2階)にもご入場いただけるプレミアムパスです。さらにはスペシャルランチボックスやフリードリンク、専用駐車エリアなどの多彩な特典が付き、快適な観戦環境をご提供いたします。

～抽選で当たる！！～

・ポッカ1000kmサーキットサファリ(40名様)

高速走行中のSUPER GTをバスの中から間近で体験いただけます！

・サービスロードツアー体験(5名様)

コースから最も近いサービスロードから迫力ある走行をご覧ください！



※サーキットサファリイメージ

開催日時:8月18日(土) 時間はタイムスケジュール決定次第、ホームページにてご案内いたします。

※当選者の発表は、パス送付時の参加タグ発送をもって代えさせていただきます。

・グリッドウォークが体験できる！

8月19日(日) AUTOBACS SUPER GTシリーズ Round5 決勝レース時のグリッドウォークにVIPスイート・プレミアムをご購入のお客様全員がご参加いただけます。

★スペシャルランチBOXが50周年記念メニューでリニューアル登場!!

三重県産にこだわり抜いた季節の食材で鈴鹿サーキットの料理長が腕をふるった特別なお弁当です。フリードリンクにはワインが、デザートタイムにはアイスクリームサービスが新しく加わりました。



※イメージ

VIPスイート・プレミアム
ゆうえんちモートピアパスポート付

47,000円

【ご観戦エリア】

- ・VIPスイート(4階・5階) ※全席指定席
- ・VIPテラス(3階) ※自由席
- ・ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階)
- ・ホスピタリティテラス(ピットビル3階)

★特典★

- スペシャルランチボックス/デザートサービス(決勝日 8月19日(日)のみ)
- フリードリンク(2日間対象)(ソフトドリンク・ビール・グラスワイン)VIPスイート、ホスピタリティラウンジにて利用可能(ワインはVIPスイートのみとなります)
- 駐車券(専用駐車エリア) ●大会公式プログラム ●ピットウォーク(2日間対象)
- オープンピット見学 ●パドック入場可(2日間対象) ●ホスピタリティラウンジ入場可 ●ホスピタリティテラス入場可 ●VIPテラス入場可 ●B・Qエリア入場可 ●激感エリア入場可 ●グリッドウォーク(8月19日(日)SUPER GT 第5戦ポッカ1000km決勝レース前のみ) ●記念品 ●レースリザルトサービス(ブース内) ●ゆうえんちモートピアパスポート(期間中の1日のみ有効)

【V2席がセットになったお得なセット！！】

プレミアムエリアご利用のお客様に、お得なV2指定席セットを設定！

VIPスイート・プレミアムの料金に「+2,000円」でV2指定席セットとなります。

(特典はVIPスイート・プレミアムと同じです。)

VIPスイート・プレミアム+V2指定席セット

49,000円

※奇数人数でお申し込みの場合、ペアシートのため、ご合席になる場合がございます。予めご了承ください。※特典の駐車券は駐車エリアにご入場いただく際、VIPスイートパスとあわせてご提示が必要になります。※3歳以上有料(飲料、食事など特典内容は大人同様となります。)※レース観戦券に付随のゆうえんちパスポートはレース開催日(土・日)のいずれか1日有効となります。※駐車券は1名様～4名様までのお申込につき、1台分となります。尚、駐車エリアはVIPスイートになるべく近い場所をご用意しております。ゆうえんち側駐車場とは異なりますので予めご了承ください。※ホスピタリティラウンジでのお食事対応はいたしていません。※VIPスイート・プレミアムは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。※お申し込み後のキャンセルは一切できません。※VIPテラスの販売はいたしていません。VIPテラスはVIPスイートのお客様のご利用エリアとなりました。※VIPスイート(4階・5階)への飲食物のお持込みはご遠慮ください。

《価格は全て税込みです》

■ホスピタリティラウンジ (2日間有効/観戦券込)

ホスピタリティラウンジは、食事をしながらゆっくりと観戦いただけるホスピタリティールームと、メインストレート側には、ピットレーンに張り出した屋外テラス席を設置。快適な観戦とモータースポーツの生の迫力をピットビル上からご堪能いただけます。

～抽選で当たる!!～

・ポッカ1000kmサーキットサファリ(40名様)

高速走行中のSUPER GTをバスの中から間近で体験いただけます!

・サービスロードツアー体験(5名様)

コースから最も近いサービスロードから迫力ある走行をご覧ください!

開催日時:8月18日(土) 時間はタイムスケジュール決定次第、ホームページにてご案内いたします。

※当選者の発表は、パス送付時の参加タグ発送をもって代えさせていただきます。



※サーキットサファリイメージ

★スペシャルランチBOXが50周年記念メニューでリニューアル登場!!

「ホスピタリティラウンジ」でしか食べられない特別メニューです。こだわり抜いた三重県産の地元食材を使用し、グレードUPしました。また食後には地元の水谷養蜂園のハチミツを使ったホスピタリティラウンジ限定デザートもお楽しみいただけます。



※イメージ

ホスピタリティラウンジ	ファミリーラウンジ (中学生以上)	ファミリーラウンジ Jr. (3歳～小学生以下)
ゆうえんちモートピアパスポート付	ゆうえんちモートピアパスポート付	
40,000円	40,000円	8,000円

【ご観戦エリア】・ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階)

※ファミリーラウンジはご家族でご観戦のお客様皆様の共有ラウンジです。ご家族単位でのお部屋ではございません。なお大人のお客様だけのご利用は出来ません。

★特典★

- スペシャルランチボックス(決勝日 8月19日(日)のみ) ●フリードリンク(2日間対象・ソフトドリンク・ビール) ●駐車券(専用駐車エリア)
- ※Jr.にはつきません ●大会公式プログラム ※Jr.にはつきません ●オープンピット見学 ●ホスピタリティテラス入場可(2日間対象)
- パドック入場可(2日間対象) ●ピットウォーク(2日間対象) ●B-Qエリア入場可 ●激感エリア入場可 ●レースリザルトサービス(ブース内) ●ゆうえんちモートピアサポート(期間中の1日のみ有効)

★ファミリーラウンジ限定特典★

- 「ファミリーバックヤードツアー」ファミリー10組様を抽選でご招待!
- Jr.パスのご希望者にゆうえんちモートピアパスポートプレゼント!
- ※8月18日(土)・19日(日)のどちらか1日 ※当日のラウンジ内受付カウンターにて受付をいたします。

【V2席がセットになったお得なセット!!】

プレミアムエリアご利用のお客様に、お得なV2指定席セットを設定!

ホスピタリティラウンジの料金に「+2,000円」でV2指定席セットとなります。(特典はホスピタリティラウンジと同じです)

ホスピタリティラウンジ+V2指定席セット	大人 1名様 42,000円 Jr.ジュニア(3歳～小学生以下) 1名様 10,000円
----------------------	---

※特典の駐車券は駐車エリアにご入場いただく際、ホスピタリティラウンジバスとあわせてご提示が必要になります。※ホスピタリティラウンジは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。※レース観戦券に付随のゆうえんちパスポートはレース開催日(土・日)のいずれか1日有効となります。※駐車券は1名様～4名様までのお申込みにつき、1台分となります。※お申し込み後のキャンセルは一切できません。※子ども料金には専用エリア駐車券、大会公式プログラムは付きません。※室内へ飲食物のお持ち込みは出来ませんので予めご了承ください。※屋外観戦席は各お部屋前が指定エリアとなります。ご自身のお部屋の前以外での屋外観戦は出来ません。

《価格は全て税込みです》

■ホスピタリティテラス (2日間有効/観戦券込)

ピットビル3階からご観戦いただけるホスピタリティテラスは、自然光を活かし、開放的な空間とするために壁を設置せずに、コースが見渡せる場所となります。2階席のホスピタリティラウンジ同様にテラス席をご用意しております。

今年も「クールダウンスペース」をオープン！
 クールダウンスペースはリザルト配布コーナーに併設します。
 熱いレース観戦もエアコンの効いた室内でクールダウン！
 ※クールダウンスペースからレース観戦は出来ません。



ホスピタリティテラス (中学生以上) ゆうえんちパスポート1日付	ホスピタリティテラスJr. (3歳~小学生) 入場のみ
23,500円	2,800円

【ご観戦エリア】 ・ホスピタリティテラス(ピットビル3階)

★特典★

- 専用プラスチックパス ●パドック入場可(2日間対象) ●ピットウォーク(2日間対象) ●オープンピット見学 ●B・Qエリア入場可
- 激感エリア入場可 ●レースリザルトサービス(ブース内) ●ゆうえんちモトピアパスポート(期間中の1日のみ有効)※Jr.にはつきません

【V2席がセットになったお得なセット！！】

プレミアムエリアご利用のお客様に、お得なV2指定席セットを設定！

ホスピタリティテラスの料金に「+2,000円」でV2指定席セットとなります。(特典はホスピタリティテラスと同じです)

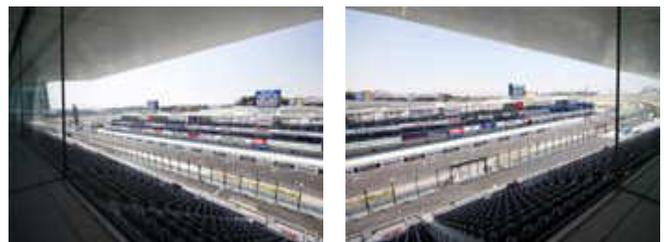
ホスピタリティテラス+V2指定席セット	大人 1名様 25,500円 Jr.ジュニア(3歳~小学生以下) 1名様 4,800円
---------------------	--

※ホスピタリティテラスは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。※レース観戦券に付随のゆうえんちパスポートはレース開催日(土・日)のいずれか1日有効となります。※ホスピタリティテラスでのお食事対応はいたしません。※ホスピタリティテラスは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。※お申し込み後のキャンセルは一切できません。※貸切でのご利用やイベント利用等でご利用いただけないエリアがある場合がございますので、予めご了承ください。

■パノラマルーム (※別途観戦券が必要) ★特典 ピットウォーク券付き

パノラマルームはグランドスタンド最上段のプライベート空間。冷暖房完備の個室で、周囲を気にせずゆったりとご観戦いただけます。サーキットビジョンを見ながらの観戦やコースを廻る観戦のベースキャンプにも、またお子様連れのご家族にもおすすめです。

パノラマルーム(1室料金) ★グランドスタンド最上段のプライベート空間 4名様(+お子さま2名様)までの利用可
65,000円



●設備内容

- ・モニター×1台(26インチ液晶)※レース映像のみ受像
- ・テーブル×1台
- ・イス×6脚
- ・居室面積9.9㎡(全室禁煙)
- ・冷暖房完備

※パノラマルームは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

《価格は全て税込みです》

■パドックパス (2日間有効 ※別途観戦券が必要)

レースの裏側を見てみよう！！

パドックでドライバー、レースクイーンに間近で会えたり、ピット裏でのチームの作業を見たり、コースサイドにある激感エリアで迫力あるレースを観戦できたり、思う存分にレースをお楽しみいただけます。

レースの迫力を激感エリアで体感しよう！

1コーナー手前イン側・2コーナーイン側・S字コーナーの激感エリアにご入場いただけます。

※安全確保のため、一部エリアへは各レース決勝時スタート～3周目までは入場を制限させていただきます。ご了承ください



※イメージ

特製カード型パドックパス枚数限定販売！

鈴鹿サーキットロゴ入りストラップがセットになった特製プラスチックパドックパスを限定販売します。

●パドックパスのカードフェイスは、公式ポスターをイメージしたデザイン。

●鈴鹿サーキットオリジナルストラップ(非売品)つき。

●パドックパスにはシリアルナンバーがついています。

※前売りにてご購入の方には、必ず特製カード型パドックパスをお渡しします。

※パドックパスJr.は特製カード型パドックパスではありません。

パドックパス ＜大人(中学生以上)＞	パドックパスJr. ＜子ども(3歳～小学生)＞
10,000円	1,500円

●ご入場可能エリア(2日間有効)

- ・パドック
- ・ピットウォーク
- ・激感エリア
- ・B・Qエリア

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。

※ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階)およびホスピタリティテラス(ピットビル3階)にはご入場いただけません。

※前売りパドックパス完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。

■ピットウォーク券 (※別途観戦券が必要)

ピットウォーク券は、カラナビ付きキーホルダー！

ピットウォーク券		
	大人 (中学生以上)	子ども
8月18日(土)予選日	2,000円	無 料
8月19日(土)決勝日	2,000円	無 料



※イメージ

※小学生以下のお子さまは、無料でご参加いただけます。

※前売りピットウォーク券完売の場合、当日ピットウォークは販売いたしません。

《価格は全て税込みです》

■前売駐車券

- 利用料金： 4,000円／1台 ※前売駐車場はエリア指定となります。個別枠指定はできません。
- 場 所： 正面駐車場5P(舗装)、正面駐車場7P(舗装)
- 利用期間： 8月18日(土)7:00～8月19日(日)2日間
- 申込方法： MOBILITY STATION(オンラインショッピングサイト)
鈴鹿サーキット電話通信販売【TEL：059-378-1100(通信販売専用電話)】
モビリティステーション窓口
※先着順販売です。販売予定数に達し次第終了します。
- 申込期間： 6月23日(土) 10:00～8月12日(日)24:00まで

ご利用いただける車両の大きさ： 5m×2.5mの駐車枠におさまる車両

※決勝レーススタートまでの出入は自由ですが、再度同じ場所に駐車できない場合がございます。
※決勝レーススタート後に出場されると再入場できない場合がございます。

【特典】

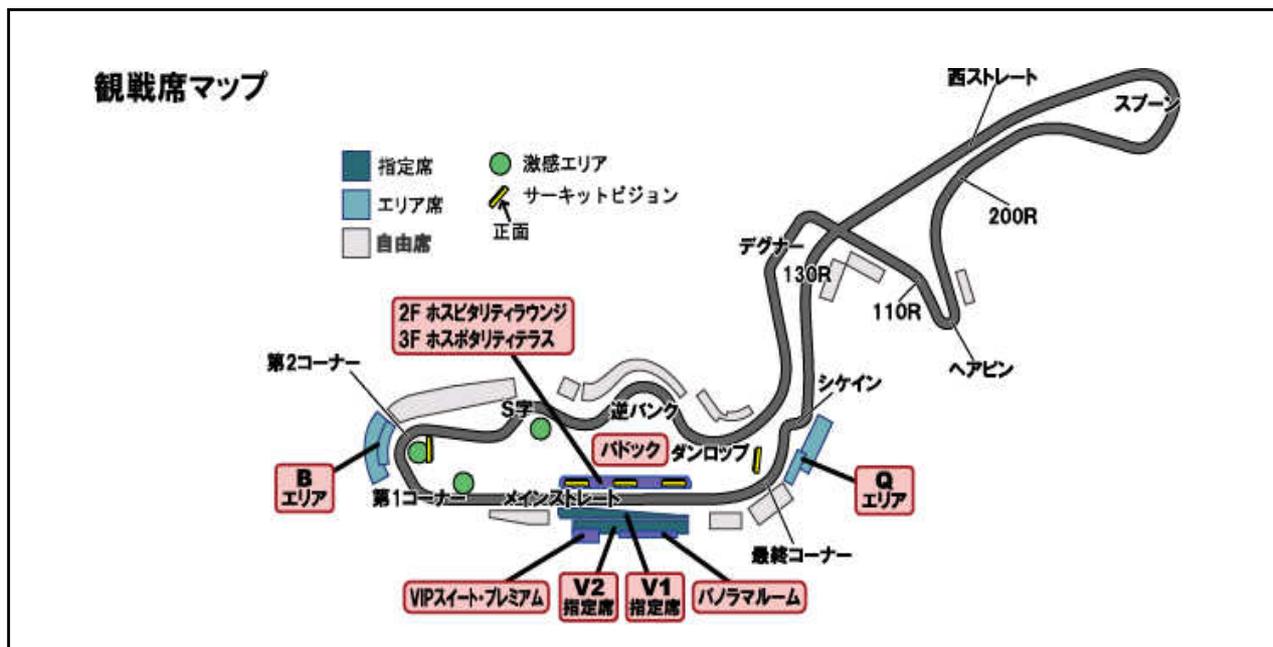
期間中ご利用いただける、天然温泉クア・ガーデンのご優待券をお渡しします。

温泉のみご利用で 大人 1,000円→800円

小人 800円→700円

※天然温泉クア・ガーデンご利用受付日時が決まっておりますのでご注意ください。

受付日時：8月18日(土)～19日(日) 6:00～9:00および11:00～16:00



チケットのお求めは（券種によってお取り扱いのない窓口もございます）

■オンラインショッピングサイト(MOBILITY STATION)

P C: <http://mls.mobilityland.co.jp>
モバイル: <http://mls.mobilityland.co.jp/mobile>
(鈴鹿サーキット オンラインショッピングサイト)

6月23日(土) 10:00
～8月12日(日) 24:00
24時間販売

★1万円以上のご購入で送料が無料に！★

モビリティステーションでの1回のご注文金額の合計が、税込総額10,000円以上の場合は送料が無料となります。(10,000円未満の場合は、全国一律500円)

■お電話による通信販売

☎059-378-1100 (通信販売専用電話)
(鈴鹿サーキット モビリティステーション)

6月23日(土)～8月12日(日)
(10:00～16:00)

■窓口での販売

(鈴鹿サーキット モビリティステーション)

6月23日(土)～8月18日(土)
(10:00～17:00)

■プレイガイド・コンビニエンスストア

販売期間:6月23日(土)～8月18日(土) ※一部販売期間が異なる店舗がございます

- ローソンチケット ●イープラス ●電子チケットぴあ ●ツインリンクもてぎチケットセンター
 - ローソン ●セブン-イレブン ●ファミリーマート ●サークルK・サンクス ●チケットボード(電子チケット)
- ※コンビニには時間帯に制約があります。※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。
※V2指定席、B・Qエリア、ホスピタリティテラス、パドックパスは、
ローソン・ローソンチケットのみでの取り扱いとなります。

鈴鹿サーキット プロモーションパートナー

LAWSON

各種チケットの詳細、特典などについては、鈴鹿サーキットホームページにてご確認ください。